

# おのまち夢企画提案のコーナー

## 【提案の内容】

東京農大小泉武夫教授が秋田県横手市の『よこて醗酵文化研究所』の顧問になったとのコラムをよみました。小泉武夫教授はわが町小野町の出身のはず。二番煎じでも受け皿を作り先生に指導を受ける事業を起しては如何ですか。他にもわが町出身の人を活用することを考えてみませんか？都会に住む人の税金の一部を出身に還元する案があるようですが出身者（人）の活用も重要ではないでしょうか？

## 【対応の内容】

この度は、おのまち夢企画へご提案いただき、誠にありがとうございました。

小泉先生をはじめ、小野町出身の方々で、活躍されている方は数多くいらっしゃいます。ご出身の方々には、これまでも小野町の活性化のために、ご助言等をいただいていたところでありました。

今後とも積極的に、小野町出身のみならず、町の活性化に向けたご助言をお願いしていきたいと思っております。

貴重なご提案ありがとうございました。

## 【提案の内容】

今回私が提案するアイデアを町の有識者の皆さんで検討して頂きたいと思っております。このアイデアが採用になれば町にもたらず経済効果は大きいと思っております。

① 皮籠石地区の工業用地を利用して生ゴミ処理工場を設立する。作業内容として、一般家庭・会社・飲食店その他公共施設などから出る生ゴミを回収して有機肥料にする。町の現在の農業を有機農業へと転換して行く。

② 雁股田地区の緑の工業団地を利用してリサイクル工場を建設する。（工場で回収するもの、新聞等の紙類、アルミ缶、鉄くず等の金属、家具、ビン類、自転車等） 作業内容例 自転車は、町の自転車店と協力して修理、レンタル自転車やリサイクル自転車として販売する。家具等は、町の家具店や建具店と協力してリサイクルして販売する。

③ 谷津作小治郎地内の源泉を利用して、観光施設を作る。

## 【対応の内容】

この度は、小野町夢企画へご提案いただき、誠にありがとうございました。

## 【お問い合わせ】

① 現在、家庭などから出される生ゴミは燃えるごみとして分別され、田村東部環境センターにおいて焼却処分されております。これらを回収して有機肥料として利用することは、資源の再利用とごみ減量化の観点から非常に素晴らしいことだと思います。

ご提案の内容は、有機肥料を町の農業へ活用するというもので、循環型の社会を形成するという施策の理想像といえるものであります。

しかしながら、生ゴミがそのまま有機肥料になるものではなく、有機肥料を作るには、ごみの出し方、選別方法、中間処理、完熟方法、完成有機肥料の輸送・購入コストなど、有機農業へ転換するにはまだまだ多くの課題があります。

また処理工場の建設については、多くの費用を要するため、小野町単独での設置は困難と思われまます。ご提案のような方策は資源の有効活用、環境保全にも大変重要なことではあります。これらもふまえて検討して参りたいと考えております。

なお、皮籠石の鶴庭工業用地については、多くの方が町外へ

通勤されていることを踏まえ、業種に拘ることなく早期に優良企業を誘致し、就労の場を確保することにより町の活性化を図ってきたいと思えますので、ご理解をお願いいたします。

② 緑の工業団地については、土地の所有者が民間企業となっており、リサイクル工場の建設は考えておりません。

所有者である企業においても今後どのように活用するかを模索している段階であり、今後さらに検討を重ねていくこととなります。

リサイクルについては、現在、田村市、三春町と共同でごみ処理業務を行っており、資源の有効利用、リサイクルの推進を図るため分別収集をすすめております。ご提案のリサイクル工場の設置については、建設費用や運営コストから、町単独での設置は困難であると思われまます。このため、前述①同様、「ごみを減量化」「再利用・再資源化」「環境に配慮」「運営経費の抑制」を念頭に、検討を進めてまいりたいと思っております。

③ については、谷津作小治郎地内にある源泉を利用して、観光施設を作るといってご提案ですが、まず、源泉については共有地に湧出しており、賃貸借に係る整理が必要で

仮に、源泉が借用できた

るならば、需要に見合ったお湯の温度・湯量を確保するための設備、衛生設備などが必置となり、これらの投資が必要となります。

現在公的機関で運営している温浴施設については、これらの問題から閉鎖しているケースも散見されております。

ご提案の件につきましては、町の活性化施策として大変有効であると考えますので、これらの問題の検討整理を行ってきたいと思えます。

貴重なご意見ありがとうございました。

おのまち夢企画提案は、自身身の描く小野町への「夢」や「想い」を自由に提案できる制度です。みなさんも是非、この機会に提案してみませんか？提案には必ず名前を書いてください。（匿名での提案は受付できません）提案された方への内容の確認や回答のために必要な情報です。名前のほかにも、住所、年齢、性別、連絡先を記入してください。記入された個人情報はこの目的以外には使用しません。

## ◆問い合わせ 企画課

電話 72-6999

FAX 72-3121

電子メール kikaku@

townono.fukushima.jp